

(10)(疫学統計研修)フォローアップ調査回答合計集計表

Q1. 本研修は役にたっていますか。

回 答	派遣元	研修生
1 たいへん役に立っている	6(35.3%)	8(38.1%)
2 役に立っている	9(52.9%)	9(42.9%)
3 どちらとも言えない	2(11.8%)	2(9.5%)
4 役にたっていない	0(0.0%)	2(9.5%)
5 全く役にたっていない	0(0.0%)	0(0.0%)

SQ1-1 (Q1で1, 2を選んだ方へ)どのような点で役に立っていると感じますか。(自由記載)

保健衛生行政の基礎知識としての疫学に関して押え直し統計的なプロセスを研修の中で学ぶことを通して現場の中で統計的な視点を持って健康課題の抽出をすることができるようになっている。

公衆衛生現場で役立つのは人的ネットワークと思われる科学院で同窓会等を開かれていることは大変良いことと思われる。埼玉県は近いので、派遣のしやすさがあるが、遠隔地では参加しにくい面もあるのでは。e-learningと共に各地域セミナーも積極的に開催されると良いのでは。

薬剤の副作用について特定因子との関連を探るコホート研究に積極的に取り組むようになった。研修で取得した疫学分析手法により、他者の研究にも積極的に助言するようになった。抗結核薬・抗てんかん剤に関する危険因子の検討で論文を投稿した。

感染症情報センター業務を担当しているため、データの解析等に大変役に立っています。

①担当業務での活用②関係者への技術指導や助言

様々なデータ処理に活用され、業務に役立っている。小さい単位の地域のデータの処理がすぐできるので、区民向けのグラフなどわかりやすく、身近なものとして理解されやすいようにしたい。

調査研究に活用しており、成果が得られている。

統計学の専門家が地方では少なく、いつでもadviceを受けることができる。

食中毒発生時の原因究明時に役立っている。

本研修で習得した技術は、保健研究及び感染症情報センター運營業務で活用されている。初歩的な導入が省略できた。

保健所にとって必要な統計学や、疫学の基礎知識と技術を学び、業務に生かしている。

疫学的な視点に立って、理化学試験データを解析することが可能となっている。

実務上のレベルアップも勿論であるが、各県の方たちとの交流範囲も広がっているようで、この点でも有意義である。

講義と演習の組み合わせで学ばせて頂けたので、実際に仕事でデータを得た時に、またデータを得ようとする時にどの統計を使用するか考えるようになりました。

各種調査データの統計処理

保健所実習に来る学生や、研修医への、指導・地方自治体の保健師への発表指導等。

統計学の初期的素養が身につく、スムーズに業務への導入ができる。

①論文の書き方②倫理審査の申請など

このコースが疫学と統計を学ぶきっかけとなり、研究計画の立案が情報収集の際に普段の業務とは違った視点から、物事を考える事ができるようになったと感じています。又このコースと一緒に研修を受けた方と研究等の情報交換を行うきっかけになりました。

研修を受ける前には、研修で使用した統計ソフトの存在も知らずに、ほとんど白紙の状態であったが、受講後職場に必要なソフトを導入し、疫学統計を学べる環境づくりに関与できた。

①調査研究についての基本的な方法論について学ぶことができ、研究方法による長短所が理解できるようになった事②統計手法についてソフトの使用について簡単な操作は自ら行うことができ、データ処理ができるようになった事③他の調査研究を調べるにあたり、内容がより理解しやすくなった事

統計ソフトの使い方はどこも教えてくれるところがなくて苦慮していましたが、わかりやすく教えていただきました。他の方がどういった調査をしてどのような分析手法を使っているかなどを自分の調査にも参考にできました。

SPSSを利用したロジスティック分析、Cox比例ハザードなど、研究デザインの考え方。なお、研修で持っていた自分自身の研究課題は今年2月にアクセプトされました。

①疫学の基礎を学ぶことにより、身の回りの事象について、疫学研究として、統計解析できないかという見方をする姿勢ができた②統計学の手法や指標さらにSPSSによる解析法を学び、実際に統計解析が行えるようになった。

食中毒処理等で疫学的な判断を行うことができ、役に立っている。

①立ち止まって考えること(疑問があれば戻ってみることなど)を意識的にできるようになった②研究テーマは身近な所にあること、事象を科学的に示すための手段として統計を活用することの意義を理解できた。

文献を読む時やデータをまとめる時に役に立っています。

①論文の書き方②倫理審査の申請など

SQ1-2(Q1で4を選んだ方へ)役に立っていない理由

転職したから

現在は統計的な解析が必要な仕事をしていないため。今後活用する予定

SQ1-3(Q1で5を選んだ方へ)全く役にたっていない理由

Q-2. 今後も本研修に職員を派遣したいと思いますか。

回	答	派遣元
1	ぜひ派遣したい	5(29.4%)
2	派遣したい	12(70.6%)
3	どちらとも言えない	0(0.0%)
4	派遣したくない	0(0.0%)
5	絶対派遣したくない	0(0.0%)

SQ2-1(Q2で4を選んだ方へ)派遣したくない理由

SQ2-2(Q2で5を選んだ方へ)絶対派遣したくない理由

Q3. 科学院の研修全般へのご意見をお聞かせ下さい。(自由記載)

細かい領域のプログラムを準備していただいております。各々のコースに最新の保健医療情報が盛り込まれているため、内容的にも充実していると思う一方で、今後の保健行政の動向として、地域ケアや住民との協同といった地域福祉保健問題への取り組みが期待されている。今後はそういった福祉・保健領域に関するコースの充実を期待したい。

病院の診療機能・質の向上には、個々の職員の研究・探究心の育成が欠かせないので、機会があれば、今後もぜひ参加させたいし、科学院の研修活動にも期待したい。

対象者の範囲拡大(公衆衛生に関わる業務に携わる行政事務)。

分析技術に関する研修(実習)を実施していただきたい。

長期研修・短期研修共に、多くのメニューが用意されており、機会があれば受講させたい。

研修終了後のフォローアップもお願いしたい。現場での疑問に答える。
 本年も派遣しました。
 公衆衛生医療的な見地から、理化学試験担当者に対する研修を希望する。
 さらに研修内容を見直してより有意義な内容を目針してもらいたい。

Q-2. 本研修を他の人に勧めたいと思いますか。

回 答	研修生
1 強く勧めたい	7(33.3%)
2 勧めたい	11(52.4%)
3 どちらとも言えない	1(4.8%)
4 勧めたくない	1(4.8%)
5 絶対勧めたくない	0(0.0%)

SQ2-1(Q2で4を選んだ方へ)勧めたくない理由

本人の意欲、学ぶ姿勢がないと身にならないので、順番等で強制的に行くものではないと思うため、本人の意志による。

SQ2-2(Q2で5を選んだ方へ)絶対勧めたくない理由

Q3. 科学院の研修全般へのご意見をお聞かせ下さい。(自由記載)

ありがとうございました。とても勉強になりました。少人数で学べたのも良かったです。
 疫学統計コースはもう一度受けたい研修です。忘れる部分もあるので、定期的に復習の機会も設けて欲しいくらいです。
 国の先生、全国の地方自治体の同種の職員の人たちと面識ができたのが良かった。転職してなければ研修を役立てていけたと思う。
 受講時及び現在の部署で疫学統計を生かす機会がありませんでしたが、今後異動等により、疫学調査の関連のある部署へ配属となった際には研修で学んだことが生かせると思います。
 落ちついた雰囲気での学習に適した環境であり、本年度も派遣している。
 疫学に関して言えば、もう少し初歩からステップアップしていけるよう習熟度に応じたコースをもっと増やして欲しい。正直言って何をやっていくかがわからない非常に苦しい研修であった。
 初心者にはまったく配慮がなされていない内容で、自習時間が非常に多かったため、内容の理解と実際の作業にとっても苦労した。
 研修では他都市の方とも交流ができ、考え方が参考になりました。講師の先生方がお忙しくて、研修期間中(後半)不在であったりしたのが少し残念でした。
 研修に参加させていただきありがとうございました。今回の研修では自分の分野と違う方達と知り合うことができ、大いに参考になりました。
 またお世話になりたいと思います。

研修主任の総括的コメント

今後は能力別に分けて基礎、応用と2回に分けることを検討したい

個別質問

(疫学統計研修)フォローアップ調査

1. 本研修を受講したのはいつですか

平成18年度終了	8(44.4%)
平成19年度終了	10(55.6%)

2. 本研修を修了したときの年齢を選んでください。

ア) ~29歳	3(16.7%)
イ) 30歳~39歳	11(61.1%)
ウ) 40歳~49歳	3(16.7%)
エ) 50歳~	1(5.6%)

4. 受講生が、本研修で学んだ内容について、現場における業務や調査・研究に

① 大いに活かされていると感じる	12(66.7%)
② 少し活かされていると感じる	3(16.7%)
③ あまり役立っていないと感じる	0(0.0%)
④ どちらともいえない	2(11.1%)
⑤ 活かされているかどうか分からない	0(0.0%)

①、②に回答した方にお聞きします。

具体的にどのようなことに活かされていると感じますか。

統計用語の理解、参考文献の見方、業務でぶつかった事項について、どのように解決すべきかを考える力がついた。

①事象やデータについて、疫学研究として解析できないかという視点で臨む姿勢ができた②実際にデータ解析が行えるようになった。

医学生の保健所実習、研修医の指導に役立っている

統計ソフトの使い方を教えていただいて以前より使えるようになりました。調査についてわかりやすく教えていただき、その後の調査・計画・実施に役立ちました。

データの解析業務に生かしています。

研修を受けて始めて疫学統計ソフトの必要性を学び、研修後にソフトを導入して業務に役立てることができる環境が整った。

①現所属でデータ分析をする際に、データの見方や分析手法について、説明や実施が行いやすくなった

②他の調査研究について、調べる際に理解しやすくなった。

各種調査データや実験データの統計処理やその結果解釈

疫学調査ではなく、残留農薬の検査結果について、統計的に解析し、まとめて報文としており、充分活かされたと思う。これからの仕事の取り組み方・考え方に統計的な知識が活かされていくと思われる。

研究デザインを考え、データを解析、論文の投稿、またレフリーへの対応、すべてに活かされていると考えています。昨年度の実習に参加した時に持っていった自身のテーマは論文化する事ができました。別刷りを添付いたします。

統計の仕事がスムーズになった。

疫学調査や統計方法を学んでたことで、業務で行ったアンケート調査に活用する事ができた。

このコースを受講した事が、疫学と統計について学ぶきっかけとなり、研究計画の立案や結果の解析の際に、これまでと違った視点から物事を考える事ができるようになったと感じています。

5. 現場の業務と関連のある疫学調査へのモチベーションや元気等が

①研修前より大いに高まったと感じる	6(33.3%)
②研修前より少し高まったと感じる	12(66.7%)
③研修前と変わらないと感じる	0(0.0%)
④どちらともいえない	0(0.0%)

6. 受講生が研修で構築した他の受講生とのネットワークについて

①現場において大いに活かしている	1(5.6%)
②現場において少し活かしている	5(27.8%)
③どちらともいえない	6(33.3%)
④現場において今のところ活かす機会がなかったようだ	6(33.3%)

7. 本研修の修了後、周囲の同僚や部下等に研修で学んだことを教えたり指導したりしたことはありましたか？

① ある	14(77.8%)
② ない	4(22.2%)

8. 総合的にみて、本研修を受講してよかったと思いますか？

① よかった	18(100.0%)
② どちらともいえない	0(0.0%)
③ よくなかった	0(0.0%)

具体的な理由

--

9. 本研修の受講を、周りの人に勧めたいと思いますか？

① 勧めたい	17(94.4%)
② とくに勧めたいとは思わない	1(5.6%)

10. 本研修に関するご感想やご要望、今後受けたい臨床試験関係の研修などがありましたら、ご記入ください。

すぐに研修結果としてこれです、と示せるものはないが、研究テーマは身近な所にあり、“何となく”から科学院に示しながら、事象をとらえる技術・知識を学ぶ事ができたと思います。

有意義な研修であり、他の職員も派遣したいが、遠隔地であり、旅費の工面がつかない(予算化されていない、できない)状況であり、残念に思う。

修了生がいつでも相談に伺えるような体制があると良いですね。

疫学統計の基礎的な知識も乏しい状態で研修を受講した為、講義が難解であった事を記憶しています。事前に予習等を事前に行うべきであったと思います。

疫学の知識がなさ過ぎて、自主性を重視された本研修についていけないところがあったが、他の受講生は朝から晩(深夜)まで、やりたい勉強ができて、わからない所があれば、すぐに教えてもらえる素晴らしい研修だと感激している人の方が多かったように思います。個人的には、もう少し初歩的な、これから疫学統計を学んでいくものを対象としたコースがあれば良かったと思います。

①研修後半で演習が多くあるプログラム中に、講師の先生方が出張で不在の日も多かったため、相談に困ったのでできれば、研修中は出張が多く入らないようにしていただきたい②SPSSでの解析方法についてももう少し詳しく学ぶ機会があれば良かったと思いました。

疫学調査の研究分野だけでなく、最近では理化学の実験データ解析においても、統計的にデータを処理して、分析法の評価をする事が多くなりましたので、(真度及び精度、不確かさ、HORRAT値、Horwitzの式など)統計学を学ぶのに、良い研修であると思いました。

分野担当責任者の評価、分析、コメント

8割以上の受講生が、本研修で学んだ内容について、現場における業務や調査・研究に活かされていると回答し、実際、実習の指導、統計ソフトを用いたデータの解析、論文の作成に、研修で学んだことを役立てている。さらに、受講生全員が、研修を受講したことにより、現場の業務と関連のある疫学調査へのモチベーションや元気等が高まり、受講してよかったと回答し、ほとんどの受講生が他の人にも勧めたいと回答している。反面、受講生が研修で構築した他の受講生とのネットワークについてはあまり活かせていず、受講後は、相談できる体制が整っていないという意見もあった。また、受講生のレベルに合った初級・上級などのコース設定の要望もあり、今後、このような点を検討し、改善していきたい。